

鹿大「進取の精神」支援基金 平成 29 年度留学生受入推進事業  
協定校学部留学生地域交流推進プロジェクト 参加者報告書

2018 年 6 月 8 日

学生 情報	氏名 name	Mutiara Putri (ムティアラ プトリ)
	出身国 country	インドネシア
	出身大学 university	Universitas Andalas (アンダラス大学)

1. 本プロジェクトの応募から現在までの活動について簡単にまとめてください。

私はアンダラス大学の日本語学科で4年間勉強していました。私は鹿児島大学に留学するプログラムのことを 2017 年に大学から教えてもらった時、これはいいチャンスだと思いました。そのため私はすぐに申し込みました。なぜなら、私が日本語学科を選んだ理由は日本語を勉強して、日本へ行きたかったからです。申し込む時、奨学金はもらうかどうかまだ分かりませんでした。日本へ来る前にお知らせをもらいました。奨学金をもらうことができ、本当にうれしいです。

鹿児島大学で日本語だけではなく、日本の文化と異文化理解も勉強しています。そして、日本人の学生に英語を教えるプログラムにも参加しました。そのため、もっとも日本人学生の友達が出来ました。日本へ初めてきた時、日本語があまり話せなくて、ちょっとこまりました。しかし、毎日日本語を勉強して、日本人といつも日本語を使うから、話せるようになりました。私は旅行が好きなので、鹿児島のさまざまなところへいきました。旅行するとき、楽しいことだけではなく、鹿児島の歴史や、文化などが分かるようになりました。11 月のおはら祭りのときも、参加して、天文館で三時間ぐらい踊りました。いい思い出になりました。

鹿児島で鹿児島大学国際交流会館に住んでいるので、近所の人と話すチャンスがありません。しかし、私は毎週土曜日に日本人と、インドネシアの伝統的な楽器「アングルン」を練習しています。練習した後、日本人のお母さんたちと一緒にお菓子や果物など食べて、いろいろなことを話しました。お母さんたちは本当に優しく、困ったとき、よく助けてくれました。そして、何回も鹿児島のいろいろな所でアングルンのパフォーマンスをしました。これは本当によかったと思います。

2. 本プロジェクトで行った地域活動について、参加者の視点から報告してください。

2017 年 11 月に騎射場公園で「のきさき市」のイベントに参加しました。「のきさき市」は騎射場の人をつなげるためのイベントです。このイベントでは屋台や、さまざまなパフォーマンスもあります。そのとき、私は鹿児島大学の先生や参加者と防災のことを学びました。そして、騎射場公園の周りで町歩きをしました。このイベントは一日で終わりましたが、「のきさき市」のメンバーの人たちと何回も会いました。防災や町歩きを何回もしました。最後は、2018 年 4 月に、また防災の感想を発表しました。このイベントに参加して、本当に勉強になりました。日本人と協力するという経験もできました。



3. まとめ(感想や今後の展望)

留学が終わったら、インドネシアに帰って、すぐに卒業して、また鹿児島に戻りたいと思います。チャンスがあれば、鹿児島大学の大学院に入りたいです。鹿児島が住みやすいので、もっと長い時間、鹿児島に住みたいです。